



BricsCAD®

AutoCADから
BricsCADへの環境移行



HEXAGON



Bricsys®

目次

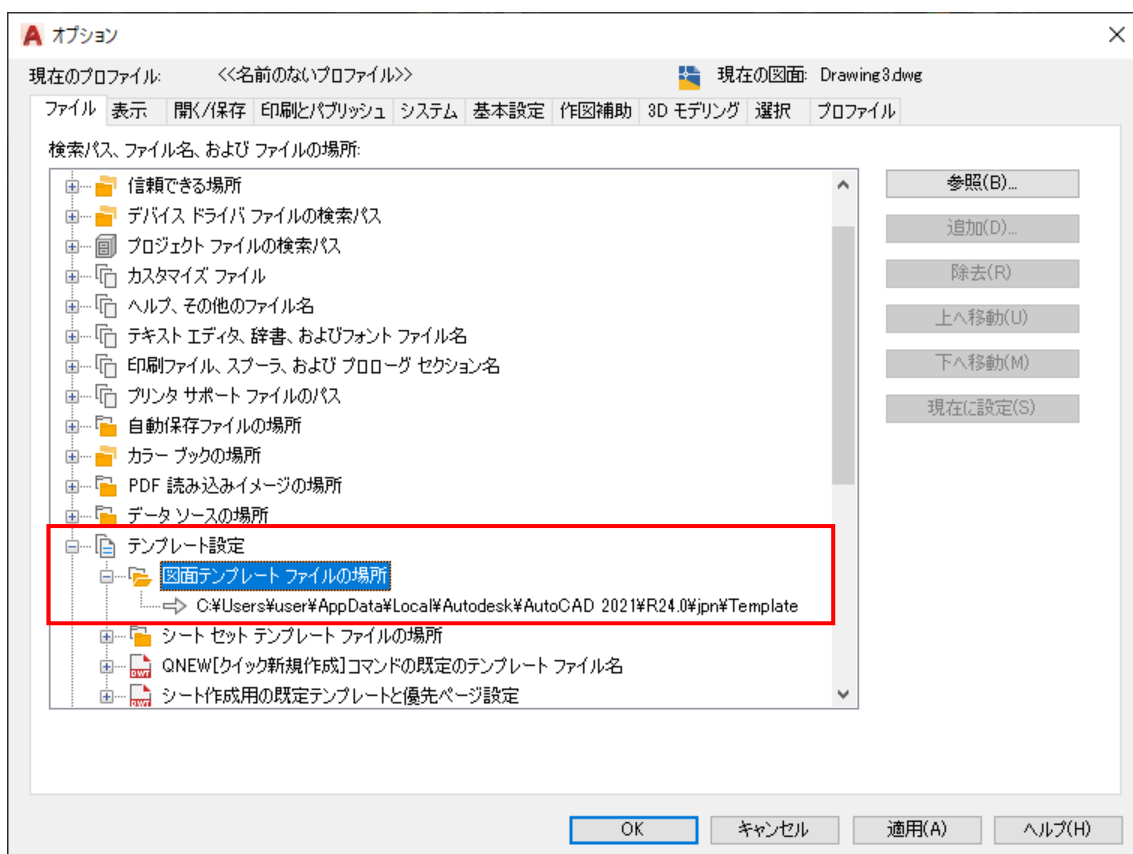
AutoCADのテンプレートファイルの保存場所の確認	—	3
BricsCADのテンプレートファイルの保存場所の確認	—	4
AutoCADの定義ファイルの保存場所の確認操作方法	—	6
BricsCADへの移行用に定義ファイルを用意	—————	7
BricsCADへの定義ファイルの設定	—————	7

BricsCADのユーザーインターフェイスやコマンド名はAutoCADと同様のため、操作をすぐに行うことができます。

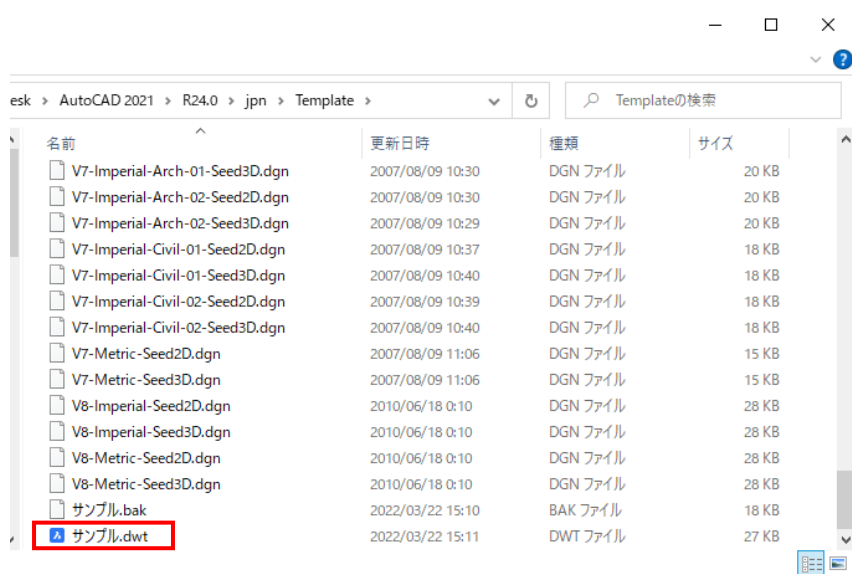
しかし、線種や寸法、フォントなどの細かな作業環境を移行するには定義ファイルの移行が必要となります。

AutoCADのテンプレートファイルの保存場所の確認

[アプリケーションメニュー]-[オプション]-[テンプレート設定]-[図面テンプレートファイルの保存場所]でテンプレートパスが確認できます。

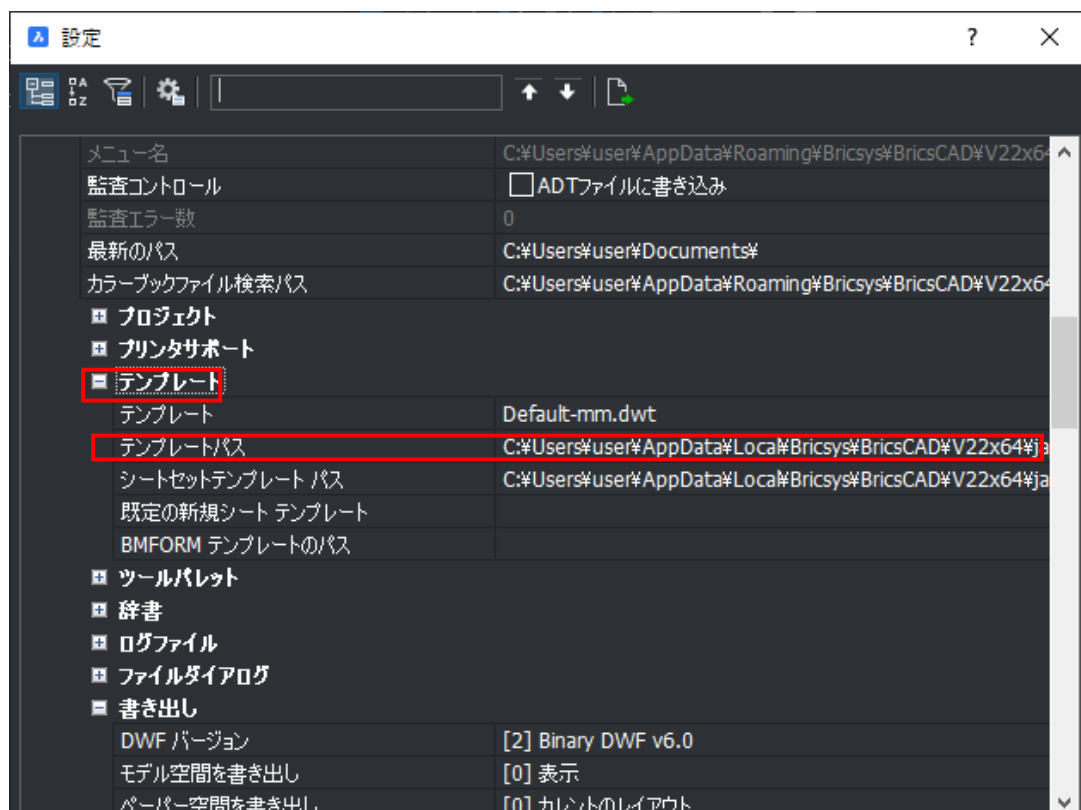


テンプレートパスをコピーしてエクスプローラーで確認します。
今回は「サンプル」をBricsCADに移行します。

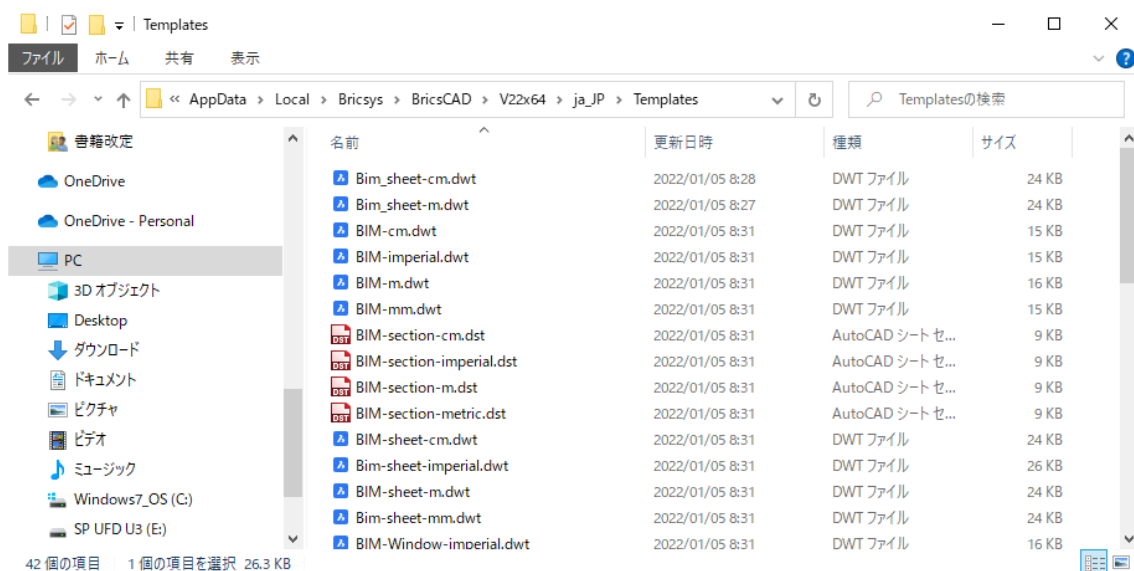


BricsCADのテンプレートファイルの保存場所の確認

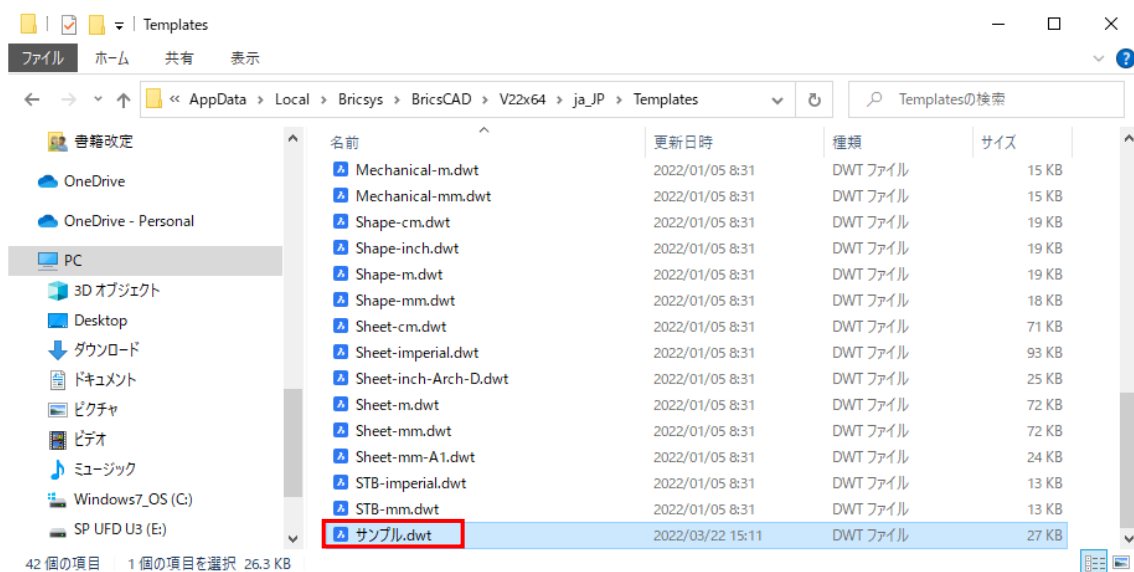
[アプリケーションメニュー]-[オプション]-[テンプレート]-[テンプレートパス]でテンプレートパスが確認できます。



テンプレートパスをコピーしてエクスプローラーで確認します。



AutoCADのテンプレートフォルダの「サンプル」をコピーして、BricsCADのテンプレートフォルダに貼り付けます。

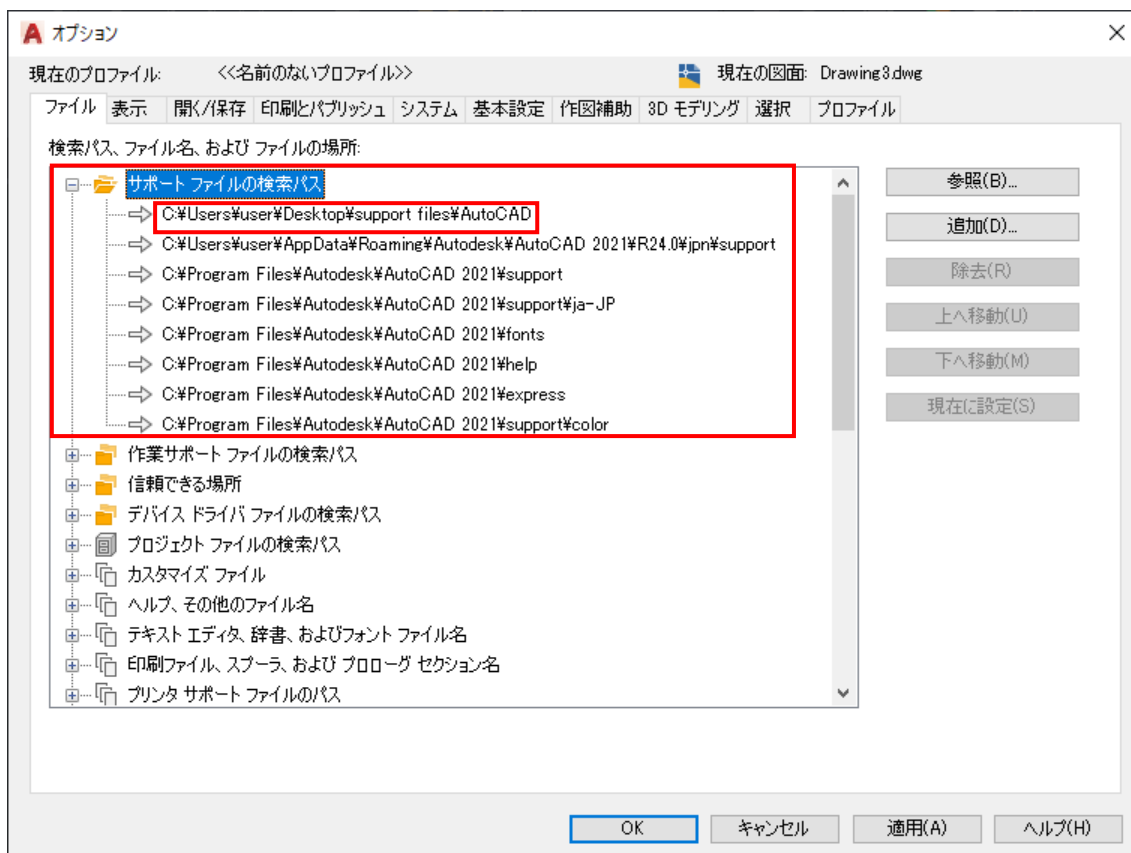


これでテンプレートの移行は完了です。

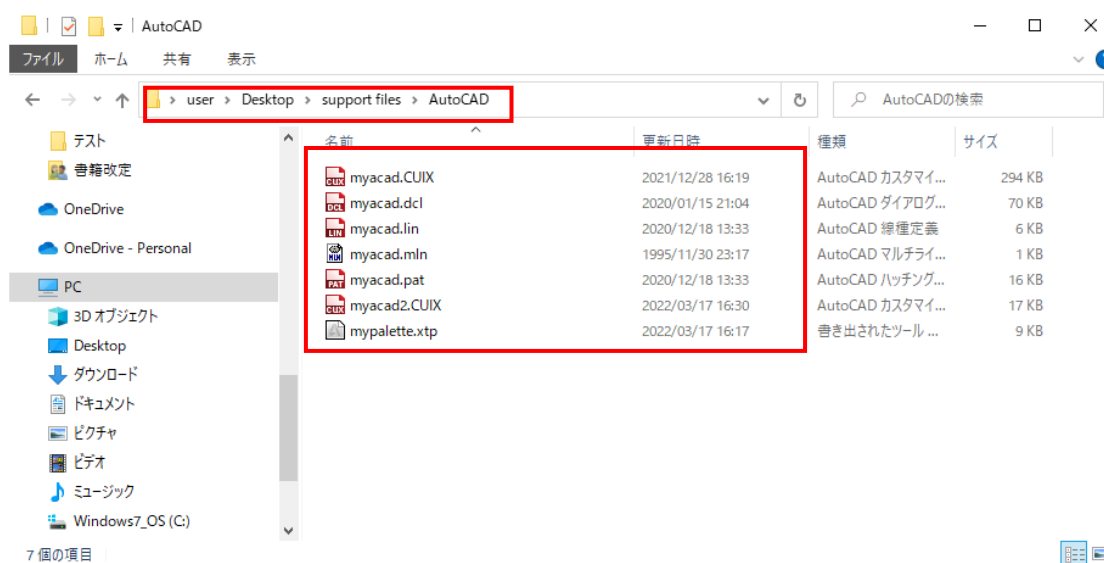
AutoCADの定義ファイルの保存場所の確認

[アプリケーションメニュー]-[オプション]-[サポートファイルの検索パス]で文字フォント、カスタマイズ ファイル、挿入する図面、線種、ハッチング パターンなどの定義ファイルの保存場所が確認できます。

今回は自分で作成した定義ファイルはデスクトップのAutoCADサポートフォルダに保存しています。

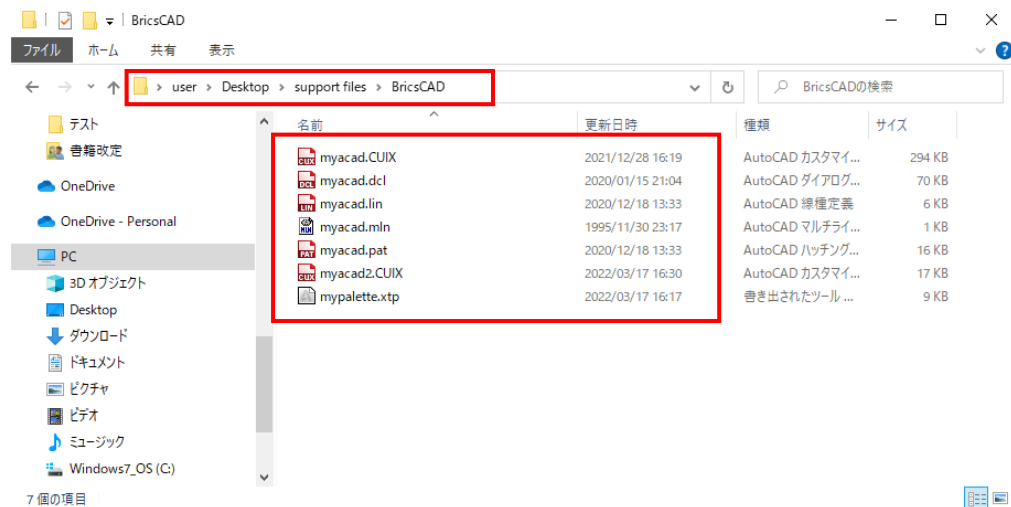


これをファイルエクスプローラーで開くと、サポートフォルダの中身を確認できます。



BricsCADへの移行用に定義ファイルを用意

これらの定義ファイルをBricsCADに移行用のフォルダーを作成し、コピーしておきます。

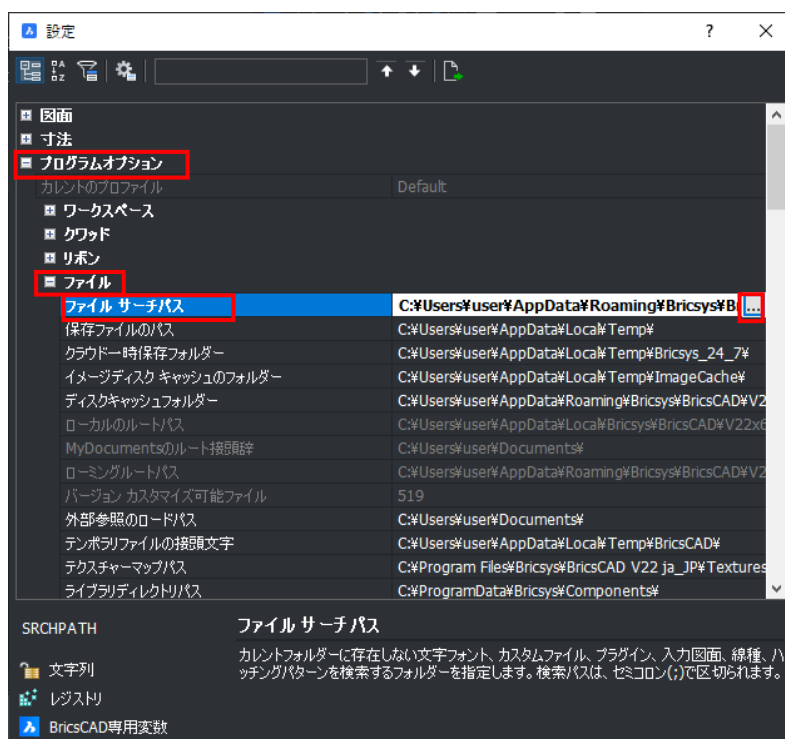


BricsCADへの定義ファイルの設定

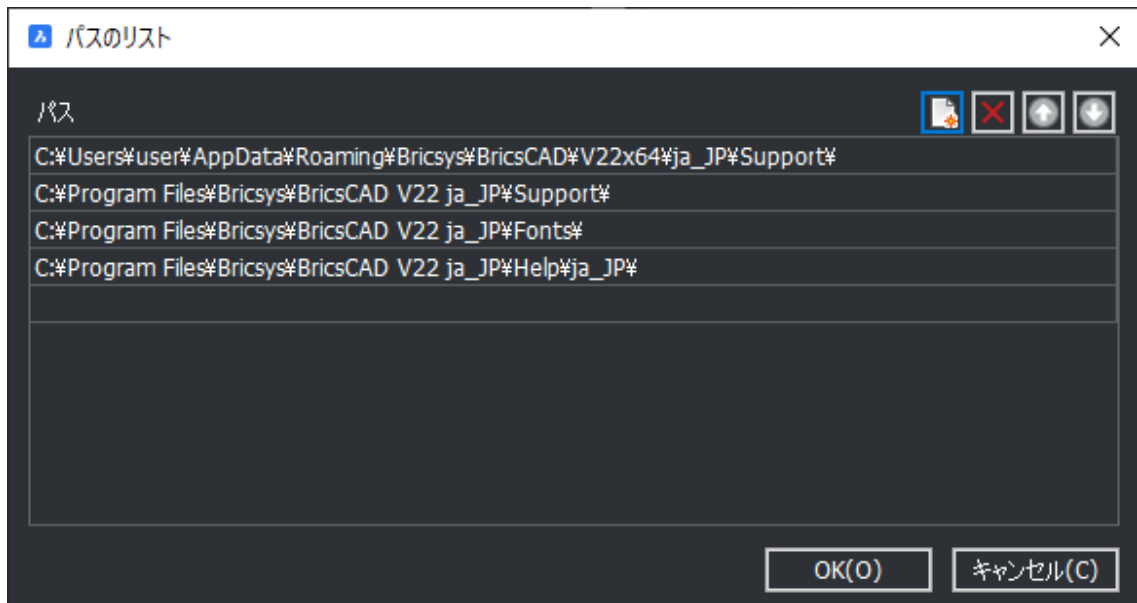
次にBricsCADの定義ファイルの検索先を確認します。

BricsCADでも、[オプション]で[設定]ダイアログを開きます。

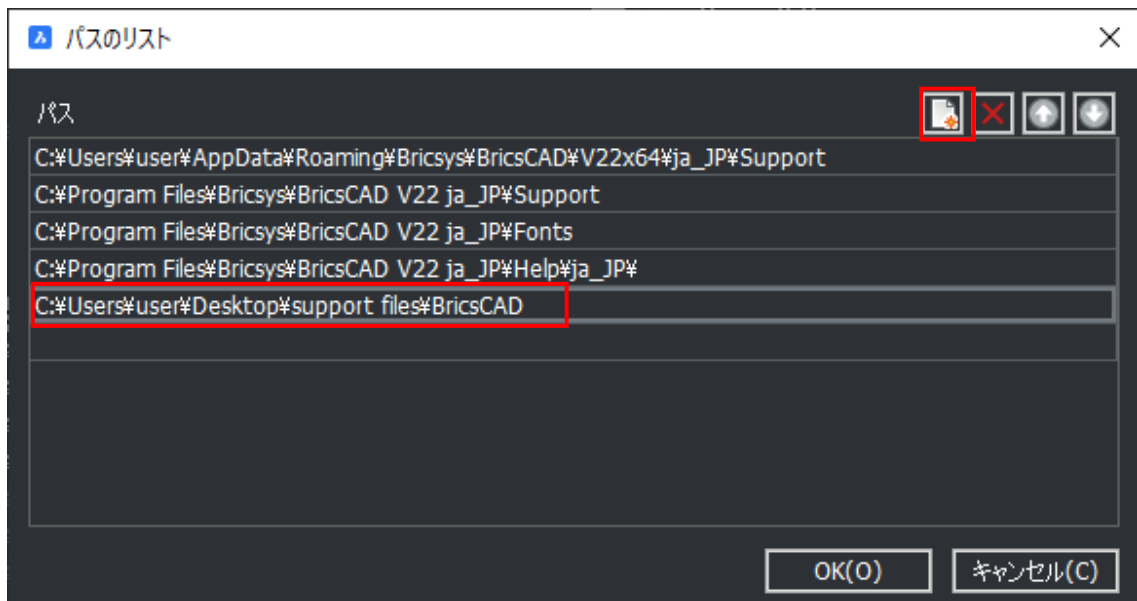
[アプリケーションメニュー]-[オプション]-[プログラムオプション]-[ファイル]-[ファイル
サーチパス]の右側の三点リーダーのアイコンをクリックします。



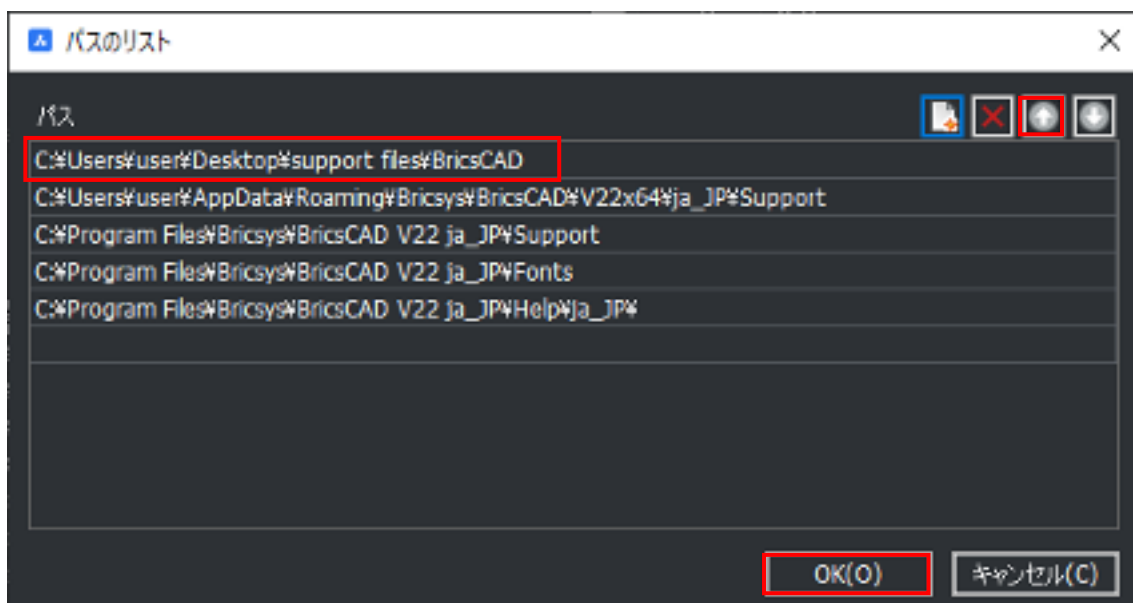
検索先のパスの一覧が表示されます。



右上の「パスを追加」で移行用フォルダーを追加します。



「上へ移動」でリストの一番上に移動させて、「OK」します。



環境の移行はこれで完了です。

BricsCADを再起動すれば、定義ファイルが読み込まれ、AutoCADで行っていた環境で作業が始められます。

